



神戸大学 未来医工学研究開発センター / 大学院医学研究科・医学部

教授 村垣 善浩

1986年神戸大学医学部を卒業。1986年東京女子医科大学脳神経外科に研修医として入局。1992年から3年間米国ペンシルバニア大学病理学教室に留学、2011年より東京女子医科大学先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野/脳神経外科（兼任）教授となり、先端生命医科学研究所の副所長、メディカルAIセンター長、早稲田大学理工学術院の客員教授も務める。2022年9月には、医療機器開発に特化した新専攻の医療創成工学分野の立ち上げのため、神戸大学教授となる。

臨床医として悪性脳腫瘍の治療を専門とし、国内一の手術件数である。大学院教授として様々な企業からの社会人大学院生と共に医療機器開発を行っている。中でも術中MRIを核とするインテリジェント手術室は2000例以上の臨床実績をもち、産学官連携功労者科学技術政策担当大臣賞を受賞した。現在日本医療研究開発機構事業でその発展型であるスマート治療室の開発を行い、第1回オープンイノベーション大賞厚生労働大臣賞や第1回森下泰記念賞を受賞した。また、日本初の医療機器医師主導治験での薬事承認や治療機器のIEC国際標準規格の発行も携わった。厚生労働省や経済産業省の各種委員を務め、政府への提言を行っている。